

慢性 過敏性大腸炎の男性 A さん（58 歳）のケース

日本の企業戦士である東京にお住まいの A さんは 10 年間、過敏性大腸炎をかかえ通勤前と通勤途中にトイレへ駆け込む回数 10 回以上という毎日を送ってきました。

初めてフラワーエッセンスを体験する秋には会社が変わる直前でした。8 種類の薬を飲んでおられ、明日は仕事に出かけないとわかっている日は、トイレの回数も 2 回で留まっていることもあります。消化器科の病院に通いながら精神科にも 2 年通い「考え方を変えなさい」と医師に言われていたそうです。幼少の頃より「外出する」というキーワードがストレスになってトイレに駆け込む状態にあったので、何か緊張を抱え込むパターンがあるのかもしれませんが。

その春、実母が亡くなったこともあったことと、会社内のお仕事でもお母様や弱い立場の方へ、必要以上に感情移入してしまうということでしたので、ピンクヤロー・スターオブベツレヘム・チェスナットバットを処方しました。すると 5 日目から通勤途中トイレで下車することが無くなりました。これは A さんにとって大きな分岐点となりました。

10 年間の「外出先での不安」が消えたのです。

その後、初めての研修旅行でもいざという時の 5 フラワーフォーミュラを持ちながら、症状が起こるのでは無いかという恐れから解放された楽しい旅行だったと嬉しそうでした。これ以降、急性下痢止めの薬を手放しました。

それからフラワーエッセンスを信頼され腰を据えて、定期的にフラワーエッセンス療法として取りかかることになりました。学生の頃よりリーダーとしていつも皆のまとめ役であった A さん。セルフヒールとチェスナットバットを中心に、インパチェンス・パイン、ハーバルオイルのマグワートを使ってリフレクソロジーも行いました。A さんの症状はあまり変化が見られませんでした。意識の変化が大きく、彼の仕事には「エンジョイ！」という Word を入れるようになったこと「奉仕したい」という気持ちが大きくなったのです。ヒーリングタッチも加え彼のオーラの拡張は非常に大きくなりました。

4 ヶ月経ち、通勤途中下車は 2 回のみでご本人は大変満足していらっしゃいました。この頃の夢「過呼吸を感じるほどの号泣している自分」を見て、溜め込んできた感情の解放が始まりました。一家の長として、会社の長として誰にも言えずに抱えてきたことがありました。YES も追加し スターオブベツレヘム・インパチェンス・オーク・ミムラスを服用して頂きました。

半年が過ぎ、足裏の状態が非常に良くなっていました。ずっと手を当てていらしたようで、A さんが体を労る愛を感じました。しかし 10 年前に一度、煩っていた尿道結石が急に起こりました。10 年前は 1 週間入院したのに、今回は 2 時間で石が落ちたのです。非常に楽だったのはフラワーエッセンスを服用していたからだと感じたそうです。

A さんのお仕事は、法務に関わる大変神経を使うお仕事です。未だに「泣いている」と伝えてくださいました。

自分の治癒力を信じたいのに出来ない。朝のトイレの回数が減らないことが気になるようです。実母の死から 1 年が経ち、やっと「死」を受け入れ「死」に対して淡々と生きることだ」と答えを見つけられました。ゲンチアン・ロックウォーター・ホワイトチェスナットを加えました。7 ヶ月が過ぎ、春の花のパンジーをずっと見ているのが好きだったことを思い出しました。運動の習慣が出来て、目

に見えて体重が落ちました。仕事量は増えて記憶力の低下を訴えていました。神経を使うお仕事が増えてきて、次の流れとしてチャパレル・インディアンピンク・チョコレートリリー・ブラックアيدスーザン・アグリモニー・オーク・ロックウォーターを服用して頂きました。陰陽五行では、「水」に関する現象は、「恐れ」を示しています。特にチョコレートリリー・ブラックアيدスーザンは、Aさんがまだ意識に上らせていない部分に光を当てることを目的に使用しました。

ずっと不安である大腸の内視鏡をなさり、異常なしの診断に体の機能的な問題ではないことに安心されました。

「YESによりベースが出来ている感じがする。へこたれなくなった。」とおっしゃいました。自ら石をつけたいと申され見て差し上げると、徐々にパワーストーンへのエネルギーを感じ始めました。

8ヶ月目ご自身の部屋を見回したとき実務書だらけだったこと、もっと小説を読みたいと感じるようになりました。

「今の仕事は嫌々やっている」と本音も打ち明けられ、転職されました。

ヒマラヤのグラガオーキッド・チョコレートリリーを2ヶ月間ご夫婦で服用頂き、オステオパシーもお勧めしました。

16ヶ月目、実父が他界され様々な身辺整理がなされました。

フラワーエッセンス療法を始めて改善されたことを改めて、二人で整理しまとめました。

- ◎体温が36℃代に上がった
- ◎途中下車が無くなった
- ◎自分は変わったんだと言える
- ◎薬が効きやすくなった
- ◎尿酸値が安定している
- ◎尿道結石が2時間で落ちた

その後ハーバルオイルのマグワートのみ、自分で冷えを感じるころへ塗布して頂きました。

18ヶ月目、大きな決断と気づきが訪れました。

- 今まで、頭に大きな帽子をかぶっていた感じがしていた
- 自分らしさを出して、会社の若い人たちへレクチャーしたら楽しくて喜ばれた
- ストーンと体調が違う
- 今まで物事を強引に進めてきた
- 要請があった時に伝えてあげたら良いことに気づく
- 60歳の転機。八ヶ岳（自然の中）での暮らしを決断
- 老子を読み始める

出勤前のトイレも3回と減りました。都会に出るとめまいがするが山に行くと調子が良い。末っ子で子どもの頃から自由な生活を好み元々、学生の際は山岳部で山によく登っていたAさんです。自然界との繋がりを長い間忘れていました。本当は自然の中での暮らしを潜在意識の中で望んでいて体が限界のサインしていたのかもしれませんが。その決断がなかなか出来ずに、家族を養うために歯を食いしばり苦手な都会に住むことで、体に怒りを溜め込み緊張させていたのかもしれません。

10年間の長い慢性疾患もご自身の本音を見つけ、ようやく治癒されました。両親の「死」も受け入れ人生とは何か向き合う18ヶ月でした。仕事では第一線で専門分野で活躍したAさんですが地域との繋がりには苦手。今後の山の暮らしは終の住処です。地方の暮らしは特に地域の繋がりが無いといけませんので、また新たなチャレンジがAさんには待っています。今は新しい建築の準備と引っ越しまでウォルナットを飲み始めたところです。